

図 1-2-1-26 八郎潟および周辺域におけるコガモの月別確認個体数(2004 年 4 月～2013 年 6 月) (注)確認個体数:9 年間(4 月は 10 年間)を通して算出した調査区ごとの 1 調査日当たりの平均個体数

(ii) オナガガモ

オナガガモの観察結果を図 1-2-1-27～図 1-2-1-29 に示した。オナガガモは、カモ類の中でコガモに次いで個体数が多いが、例年の出現傾向に安定性はない。

- ・ 確認個体数を月別に比べると 11 月にピークが見られるが、その他の月では出現記録が少ない。
- ・ 本種は 10 月～11 月、芦崎に 5,000 羽～20,000 羽が飛来する。その後、2 月～3 月には、東部承水路周辺（鹿渡）や八郎潟調整池周辺（大潟橋、船越）の数箇所で集中的に記録される。

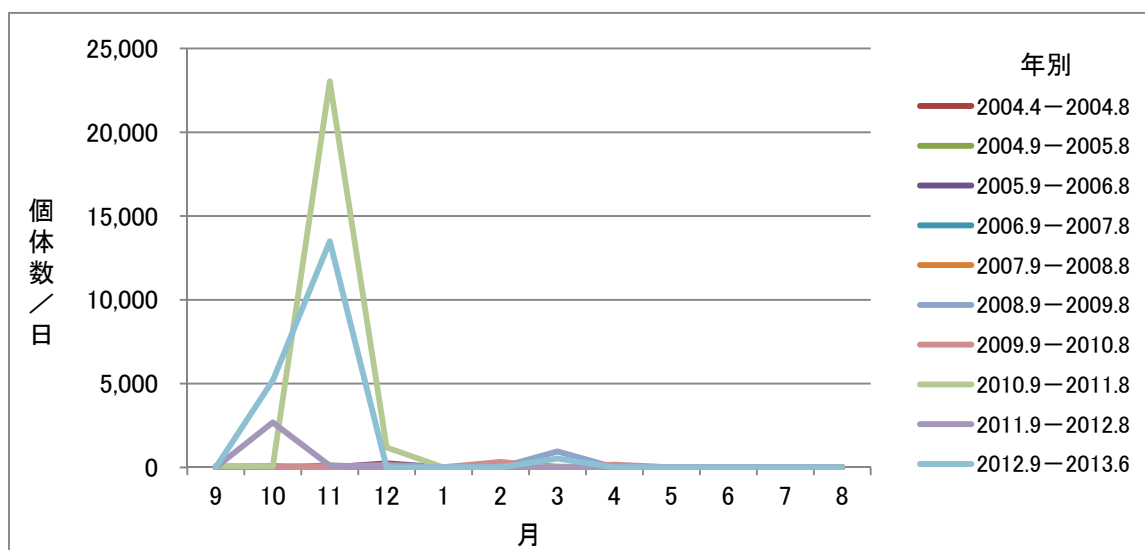


図 1-2-1-27 オナガガモの年別月別確認個体数の変化(2004 年 4 月～2013 年 6 月)

(注)月別確認個体数:調査区ごとに 1 調査日当たりの平均個体数を算出し、それを月別に合計した値

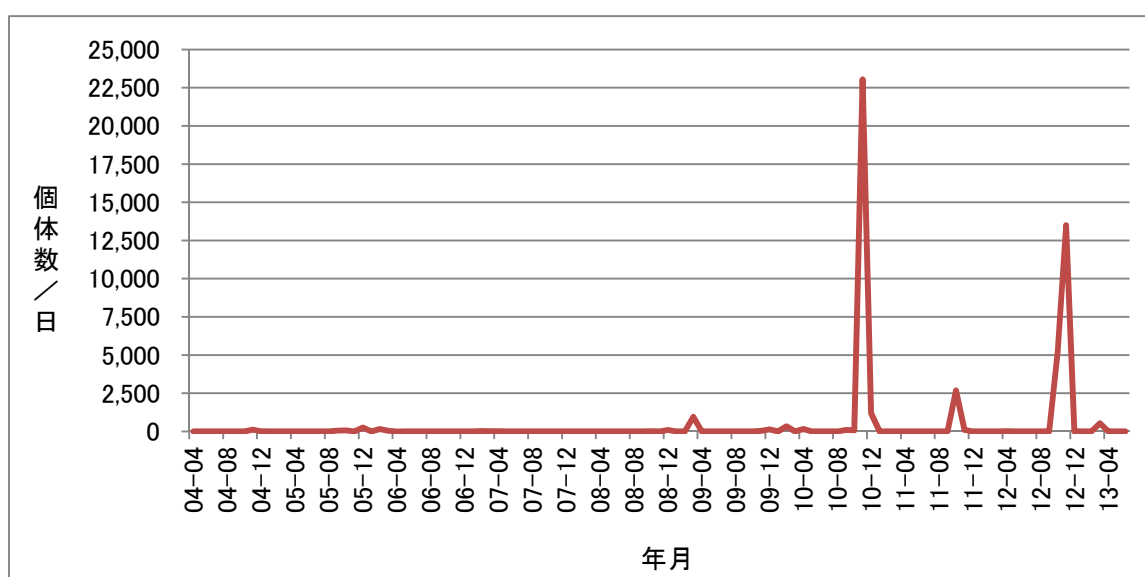


図 1-2-1-28 オナガガモの月別確認個体数の経年変化(2004 年 4 月～2013 年 6 月)

(注)月別確認個体数:調査区ごとに 1 調査日当たりの平均個体数を算出し、それを月別に合計した値

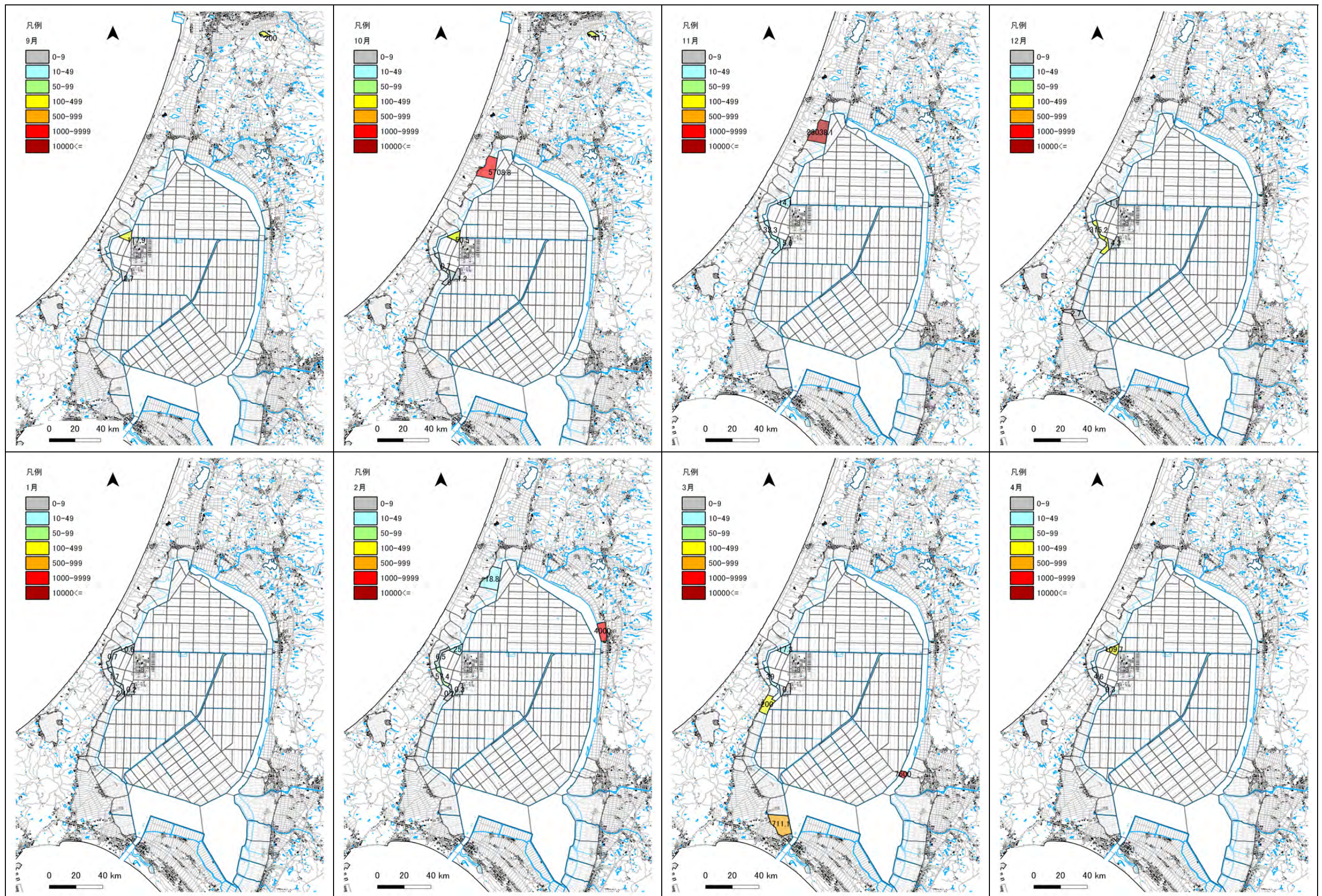


図 1-2-1-29 八郎潟および周辺域におけるオナガガモの月別確認個体数(2004年4月～2013年6月) (注)確認個体数:9年間(4月は10年間)を通して算出した調査区ごとの1調査日当たりの平均個体数

(iii) マガモ

マガモの観察結果を図 1-2-1-30～図 1-2-1-32 に示した。マガモはカモ類の中でコガモ、オナガガモに次いで個体数が多いが、オナガガモ同様、主な出現時期は限定される。

- ・ 出現月の確認個体数は数 100 羽程度が普通だが、2010 年および 2012 年の 11 月には、12,000～14,000 羽を記録している。
- ・ 本種は 10 月～11 月、西部承水路周辺（芦崎、A36 など）に 2,000 羽～15,000 羽が飛来するが、その後、飛去前の 2 月には、東部承水路周辺（鹿渡）で約 3,000 羽が記録されている。利用状況は安定していない。

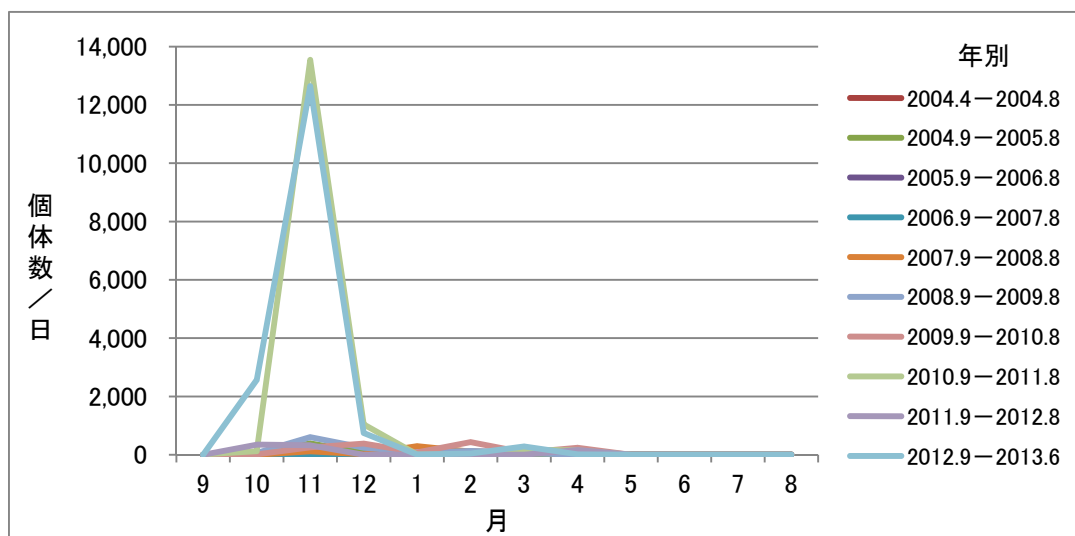


図 1-2-1-30 マガモの年別月別確認個体数の変化(2004 年 4 月～2013 年 6 月)

(注)月別確認個体数:調査区ごとに 1 調査日当たりの平均個体数を算出し、それを月別に合計した値

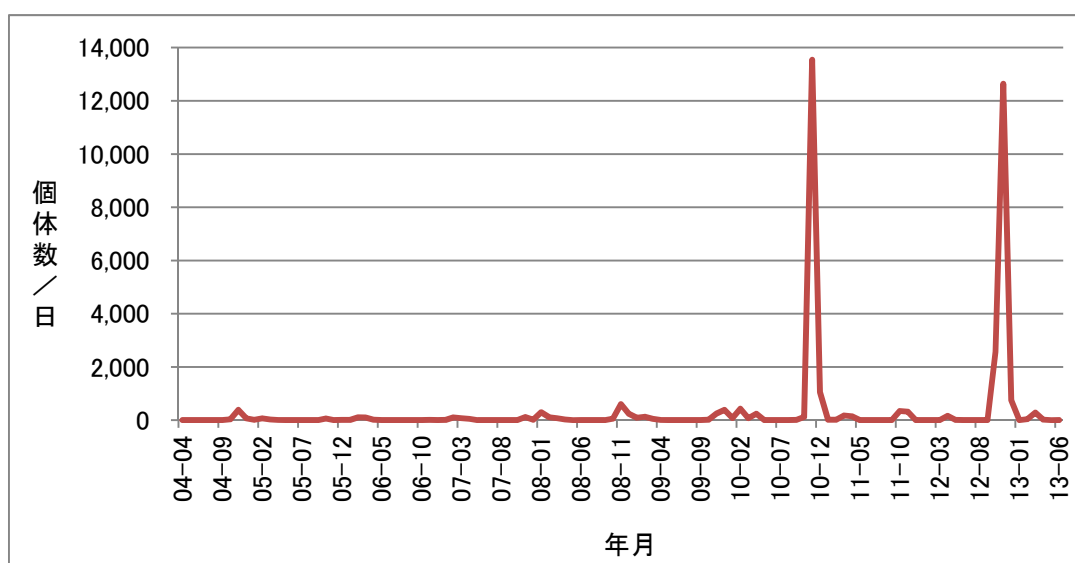


図 1-2-1-31 マガモの月別確認個体数の経年変化(2004 年 4 月～2013 年 6 月)

(注)月別確認個体数:調査区ごとに 1 調査日当たりの平均個体数を算出し、それを月別に合計した値

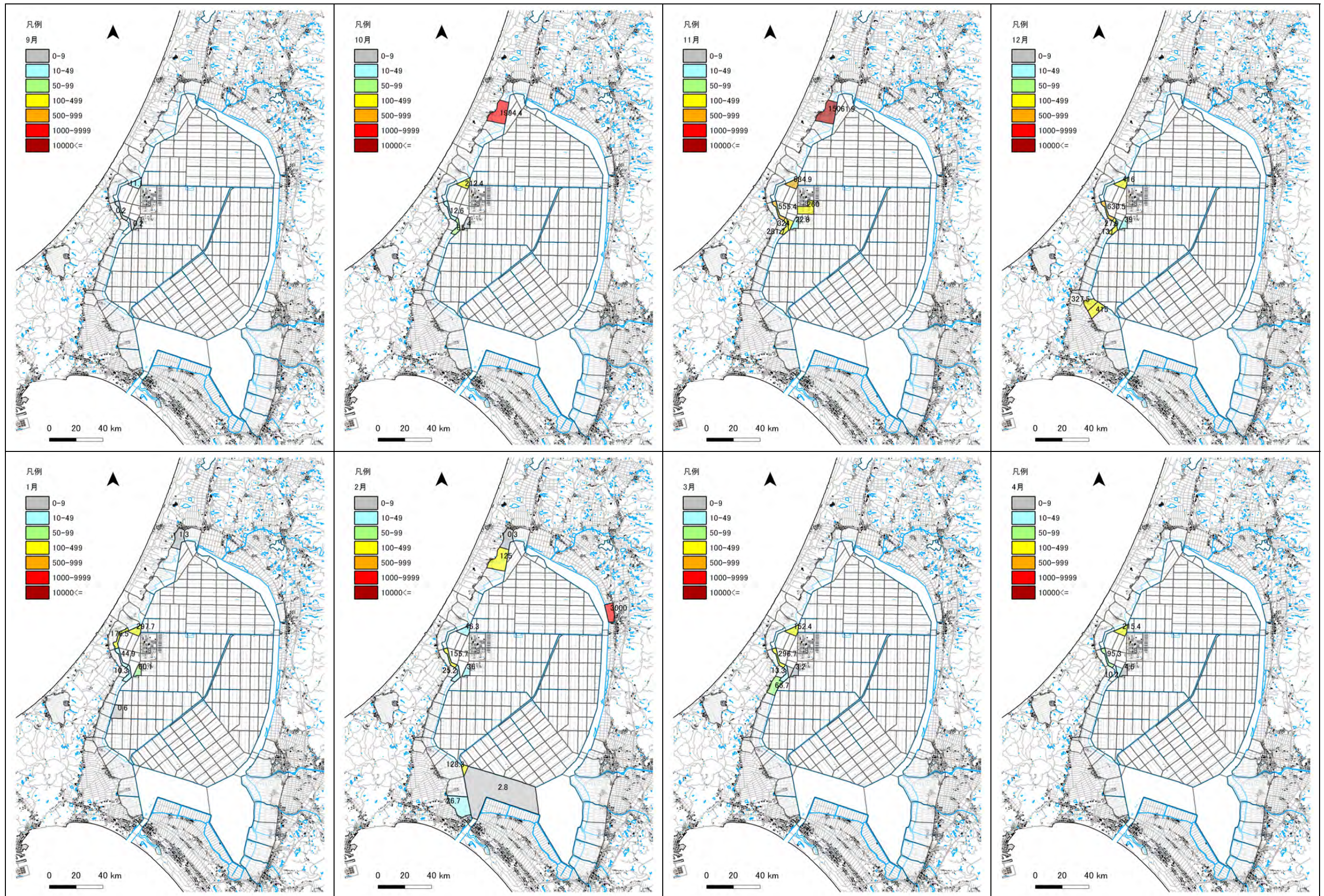


図 1-2-1-32 八郎潟および周辺域におけるマガモの月別確認個体数(2004年4月～2013年6月) (注)確認個体数:9年間(4月は10年間)を通して算出した調査区ごとの1調査日当たりの平均個体数

(iv)カルガモ

カルガモの観察結果を図 1-2-1-33～図 1-2-1-35 に示した。カルガモは、他のカモ類と異なり留鳥のため年間を通して生息するが、当該地では秋～春（11 月～2 月）にかけて数多く見られる。

- ・ 確認個体数を月別で比べると、11 月と 1 月にピークが見られ、4 月以降は少ない。本種は徐々に増加傾向を示している。
- ・ 本種は年間を通して主に西部承水路周辺で見られる。また、9 月～10 月は八郎潟調整池南東（船越）、1 月～2 月には潟端や NHK 向いなどの地域で数 100 羽が記録される。

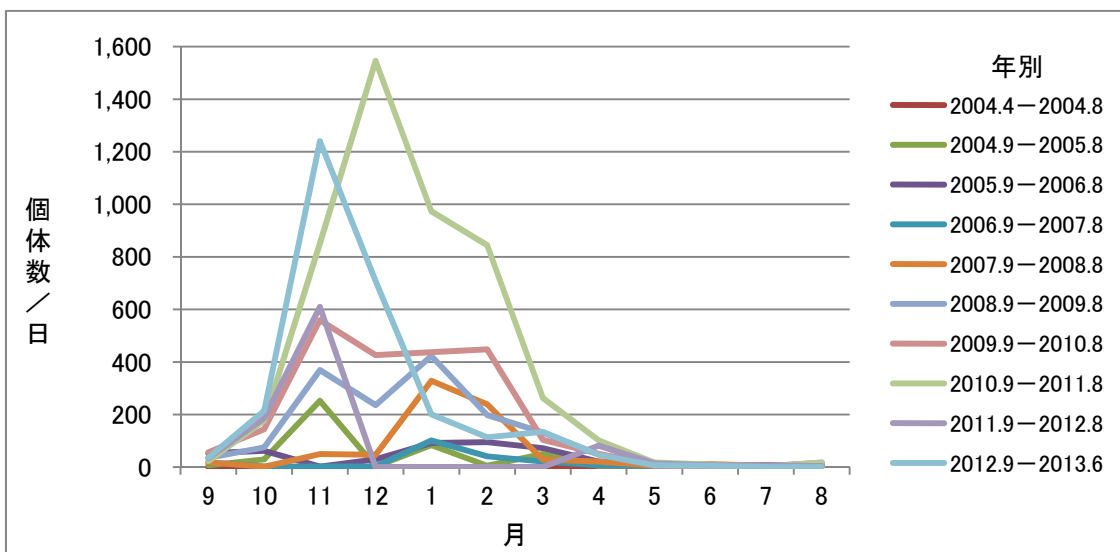


図 1-2-1-33 カルガモの年別月別確認個体数の変化(2004 年 4 月～2013 年 6 月)

(注)月別確認個体数:調査区ごとに 1 調査日当たりの平均個体数を算出し、それを月別に合計した値

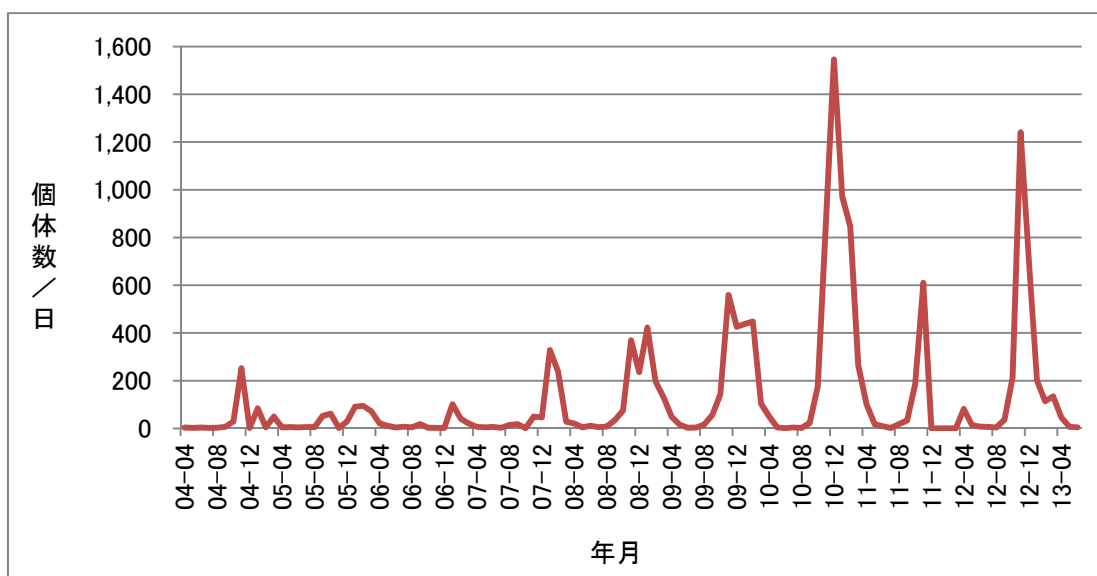


図 1-2-1-34 カルガモの月別確認個体数の経年変化(2004 年 4 月～2013 年 6 月)

(注)月別確認個体数:調査区ごとに 1 調査日当たりの平均個体数を算出し、それを月別に合計した値

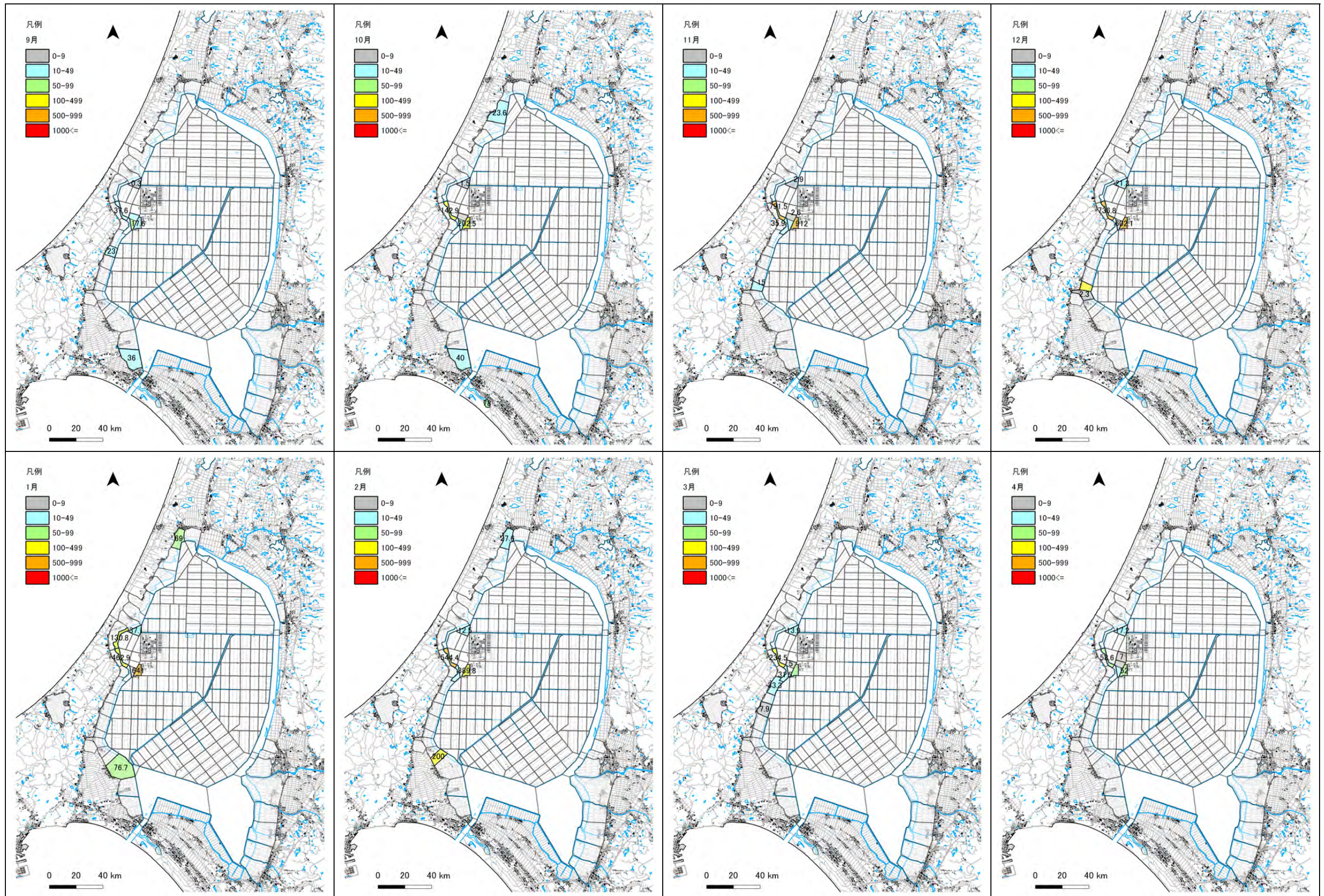


図 1-2-1-35 (1) 八郎潟および周辺域におけるカルガモの月別確認個体数(2004 年 4 月～2013 年 6 月) (注)確認個体数:9 年間(4～6 月は 10 年間)を通して算出した調査区ごとの 1 調査日当たりの平均個体数

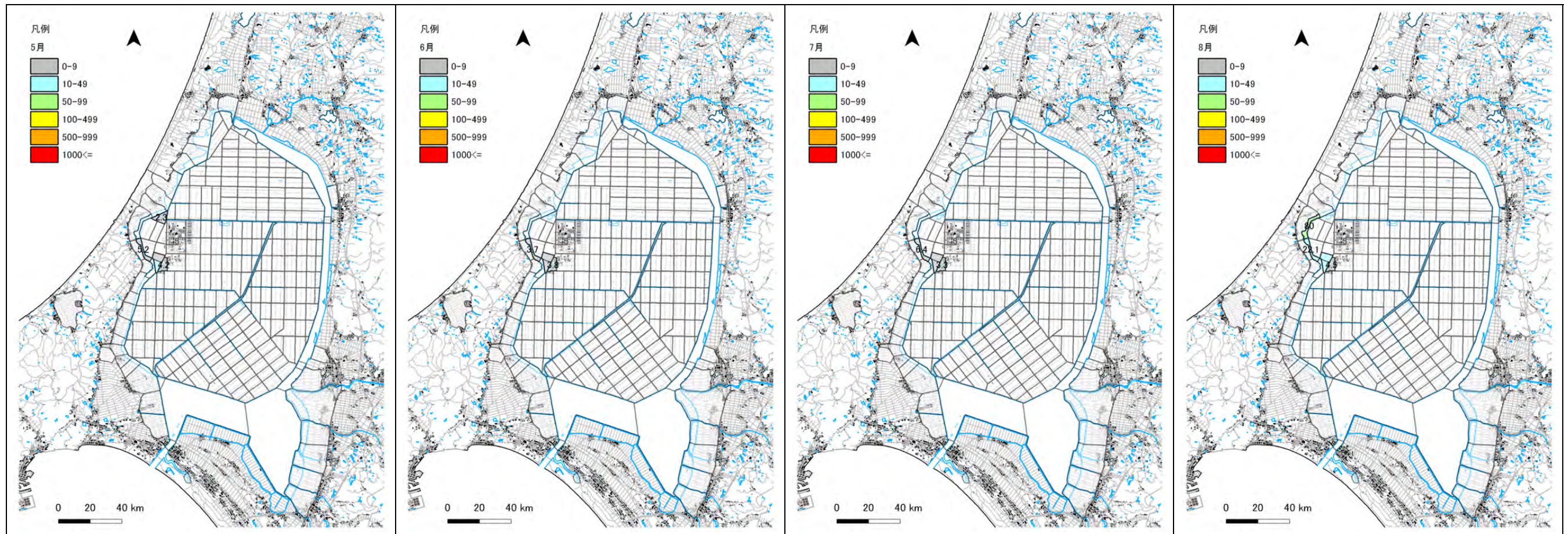


図 1-2-1-35 (2) 八郎潟および周辺域におけるカルガモの月別確認個体数(2004 年 4 月～2013 年 6 月) (注)確認個体数:9 年間(4～6 月は 10 年間)を通して算出した調査区ごとの 1 調査日当たりの平均個体数

(vi) 淡水ガモ類

前述したコガモ、マガモ、オナガガモ、カルガモに比べ個体数はかなり少ないがヒドリガモ、ハシビロガモ、トモエガモ、ヨシガモ、オシドリ、オカヨシガモ、シマアジ、アメリカヒドリ、アメリカコガモ、アカツクシガモが記録されている。これら計 10 種のガモを淡水ガモ類としてまとめ、その傾向を図 1-2-1-36～図 1-2-1-38 に示す。

- ・淡水ガモの確認個体数を月別で比べると、例年 11 月にピークが見られる。2004 年以降の経年変化では、毎年多い時期で 5,000 羽～10,000 羽が認められている。ただし、2010 年 11 月は、過去 10 年間で最も多い約 50,000 羽が記録された。
- ・淡水ガモ類は越冬期、主に西部承水路周辺を利用するが、2 月は東部承水路の鹿渡、3 月には同じく東部承水路の大潟橋でも大群が記録されている。

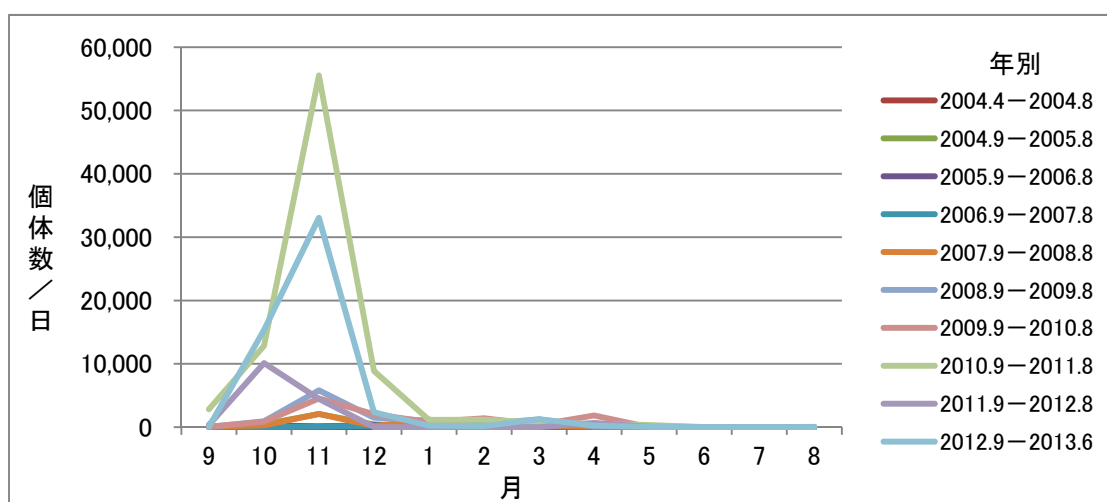


図 1-2-1-36 淡水ガモ類の年別月別の確認個体数の変化(2004 年 4 月～2013 年 6 月)

(注) 月別確認個体数: 調査区ごとに 1 調査日当たりの平均個体数を算出し、それを月別に合計した値

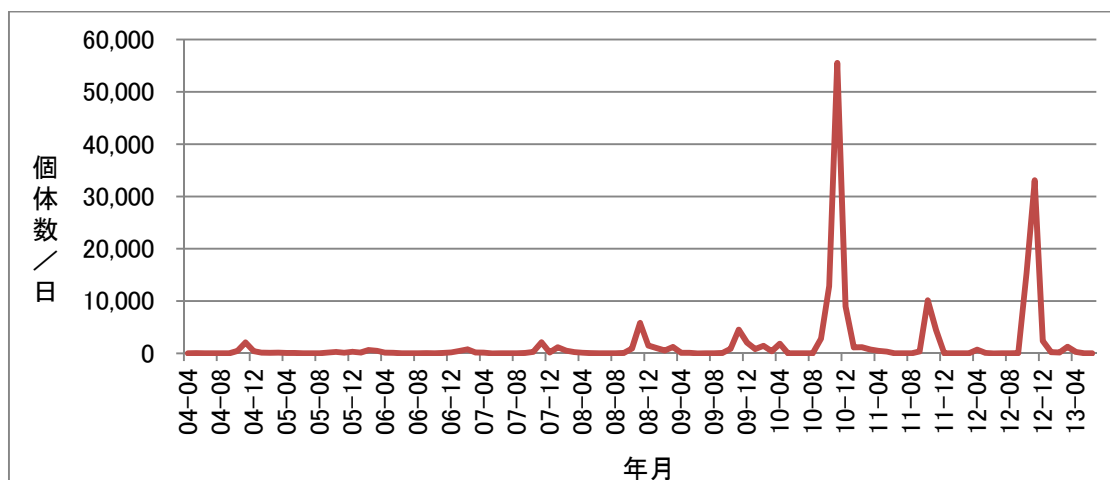


図 1-2-1-37 淡水ガモ類の月別確認個体数の経年変化(2004 年 4 月～2013 年 6 月)

(注) 月別確認個体数: 調査区ごとに 1 調査日当たりの平均個体数を算出し、それを月別に合計した値

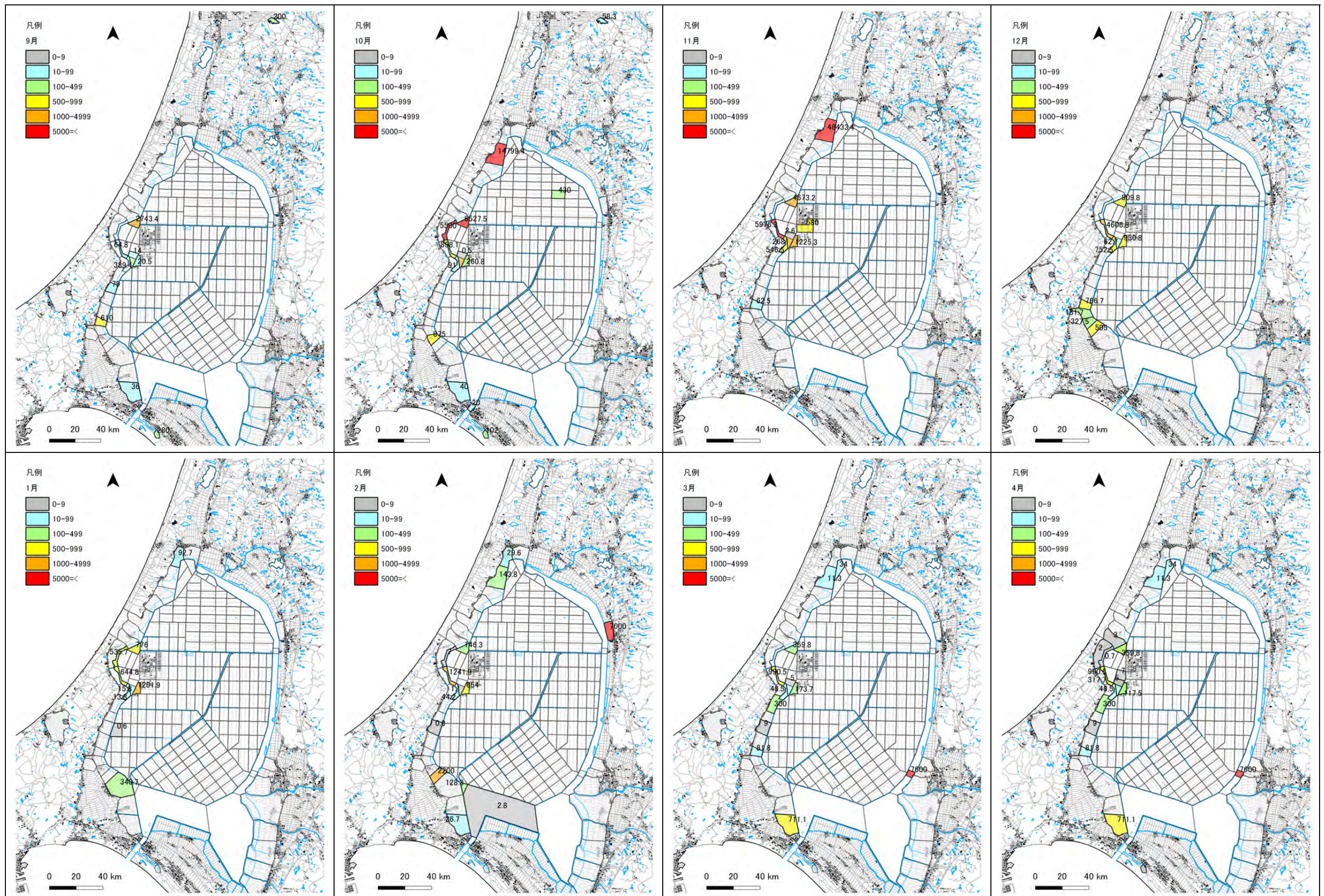


図 1-2-1-38 八郎潟および周辺域における淡水ガモ類の月別確認個体数(2004年4月～2013年6月) (注)確認個体数:9年間(4月は10年間)を通して算出した調査区ごとの1調査日当たりの平均個体数

(v)海ガモ類

ウミアイサ、カワアイサ、ミコアイサ、キンクロハジロ、スズガモ、ホオジロガモ、ホシハジロ、クロガモ、コオリガモの9種を海ガモ類として、まとめて図1-2-1-39～1-2-1-41に示す、

- ・海ガモの確認個体数は月別で比べると、例年12月から3月にかけて数10羽から100羽程度が記録されている。ただし、2010年4月は、過去10年間で最も多い約250羽が確認された。
- ・海ガモ類は越冬期、主に西部承水路周辺から八郎潟調整池西部にかかる地域に出現している。

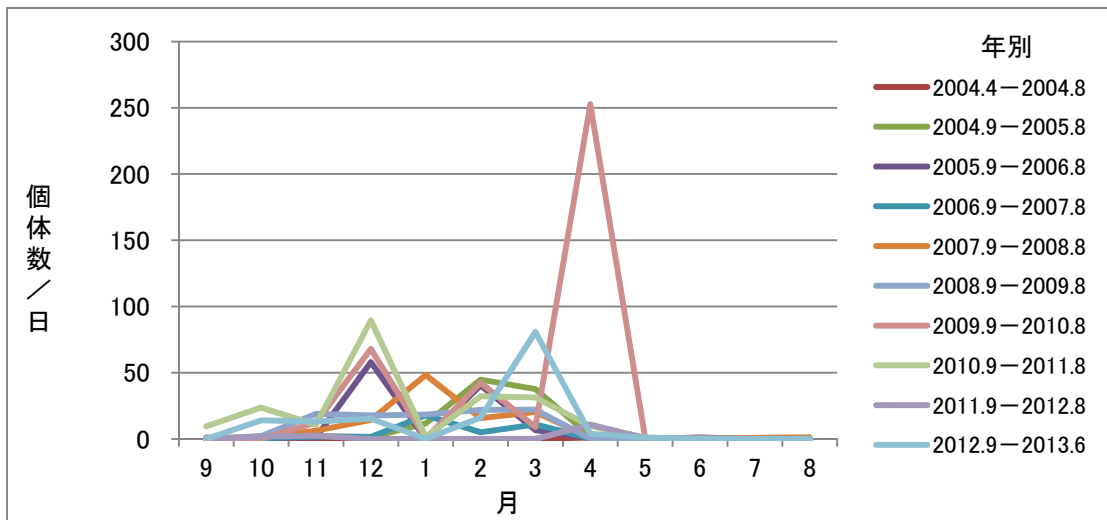


図1-2-1-39 海ガモ類の年別月別の確認個体数の変化(2004年4月～2013年6月)

(注)月別確認個体数:調査区ごとに1調査日当たりの平均個体数を算出し、それを月別に合計した値

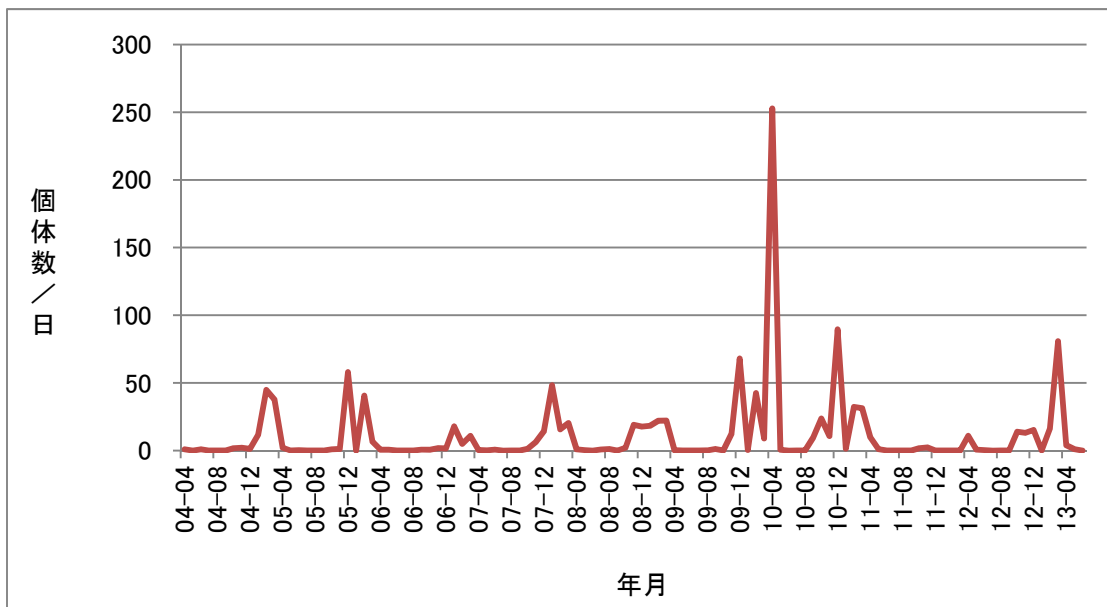


図1-2-1-40 海ガモ類の月別確認個体数の経年変化(2004年4月～2013年6月)

(注)月別確認個体数:調査区ごとに1調査日当たりの平均個体数を算出し、それを月別に合計した値

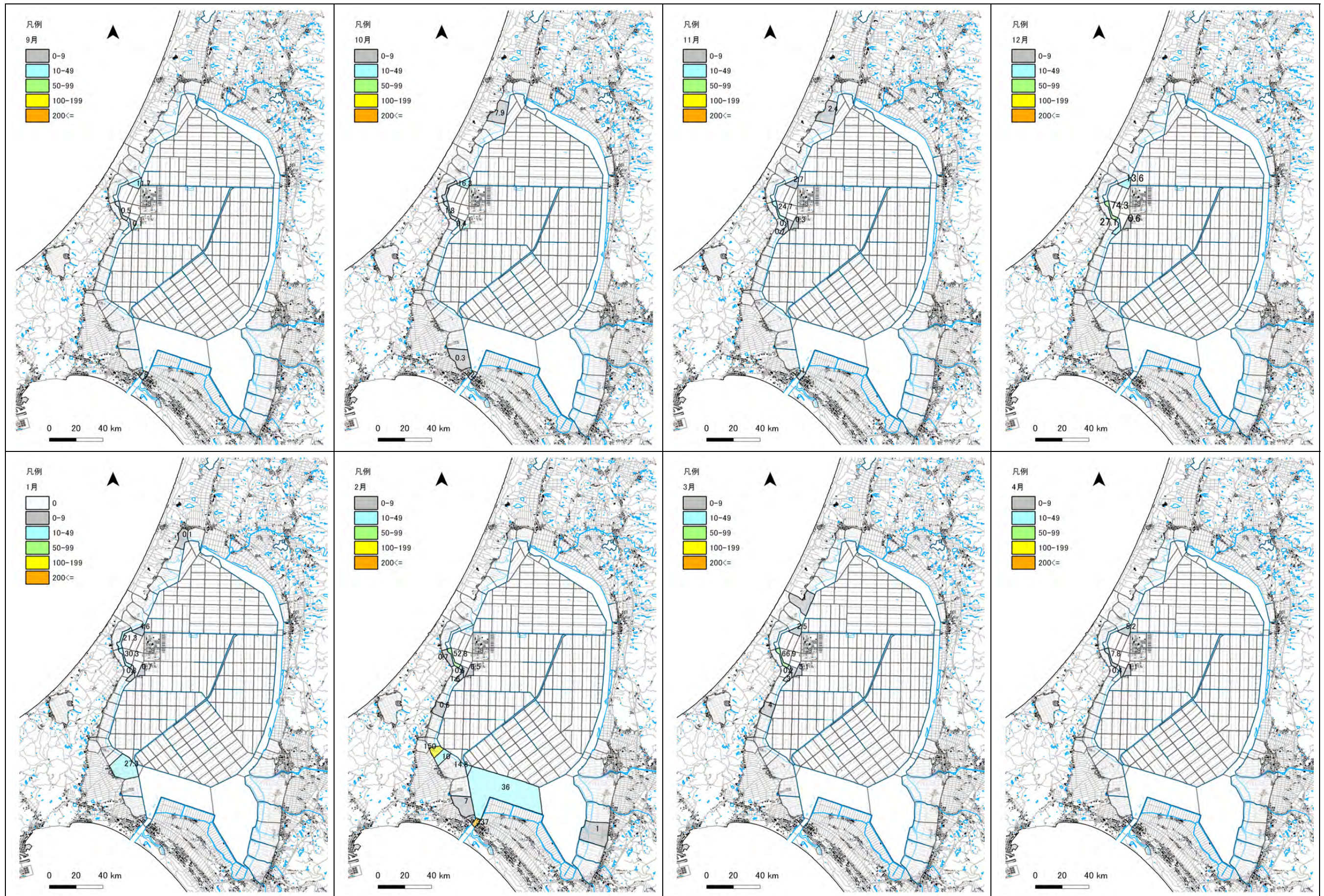


図 1-2-1-41 八郎潟および周辺域における海ガモ類の月別確認個体数(2004年4月～2013年6月) (注)確認個体数:9年間(4月は10年間)を通して算出した調査区ごとの1調査日当たりの平均個体数

③ 月別利用状況のまとめ(2004～2013年)

八郎潟および周辺域で2004年4月～2013年6月に確認されたガン類、ハクチョウ類およびカモ類の月別平均個体数をまとめた(表1-2-1-1、図1-2-1-42～図1-2-1-44)。

マガンは3月、ヒシクイは1月～2月、ハクガンは12月、シジュウカラガンは3月に最も多く見られる。オオハクチョウ、コハクチョウは12月が最も多く、次いで2月～3月に多い。一方、カモ類は11月がピークとなる。

表1-2-1-1 ガン類・ハクチョウ類およびカモ類の月別平均確認個体数(2004年4月～2013年6月)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
マガン	8.8	9044.8	18864.3	21108.1	10880.5	343317.0	632480.5	12.2	0.0	0.0	0.0	0.0
ヒシクイ	3.2	48.8	6314.1	22951.6	36072.3	35914.9	7649.9	17.3	0.2	0.0	0.0	0.0
ハクガン	0.0	0.2	37.5	192.0	125.5	109.0	78.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
シジュウカラガン	0.0	0.0	60.8	180.2	65.0	106.2	396.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サカツラガン	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カリガネ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
コクガン	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ガン類	0.0	0.0	8014.6	9412.0	5520.1	800.3	270.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
オオハクチョウ	0.0	18.7	143.0	290.1	446.4	695.7	252.6	2.3	1.3	0.6	0.1	0.0
コハクチョウ	0.2	304.8	1024.2	2337.3	589.2	1260.7	338.4	1.3	1.4	0.6	0.2	0.0
ハクチョウ類	0.0	23.0	769.4	3058.9	1709.2	82.0	697.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
コガモ	3440.4	33394.9	50178.7	10602.0	2451.0	2248.2	1843.4	1323.4	730.9	4.4	1.5	0.9
オナガガモ	174.0	9337.5	48724.7	2140.9	13.4	619.0	2356.5	257.8	6.2	1.3	0.0	0.0
マガモ	16.2	3787.7	36097.6	2998.0	661.4	1232.7	1106.2	797.6	13.9	4.8	2.3	0.6
カルガモ	309.2	1040.8	4855.9	3642.0	3395.9	2691.9	1033.0	434.1	86.8	41.8	33.3	74.8
淡水ガモ類	33.0	163.9	115.4	14.9	4.5	5.4	33.7	154.0	177.9	5.7	2.0	3.3
海ガモ類	12.8	51.6	82.6	311.8	116.2	269.7	292.3	38.7	5.3	2.2	1.1	1.6

(注) 値は各月に確認された総個体数(延べ数)の年平均を示す。

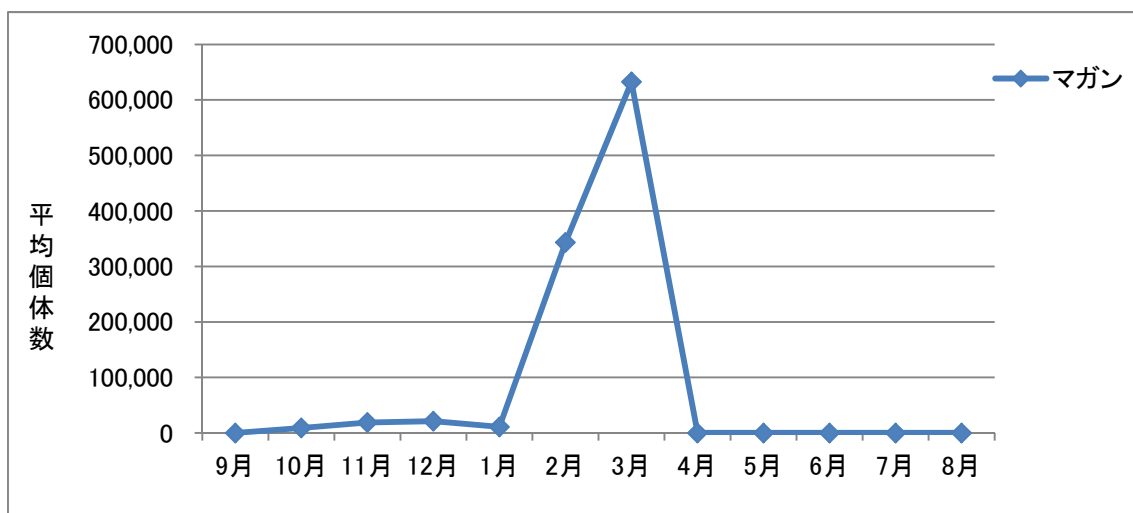


図1-2-1-42 マガンの月別平均確認個体数(2004年4月～2013年6月)

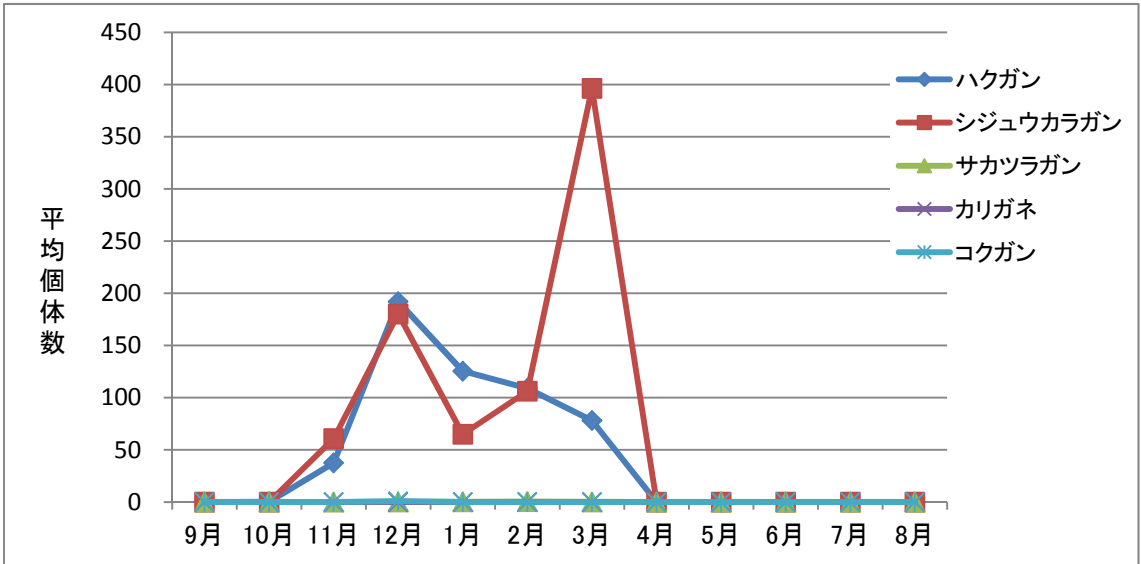
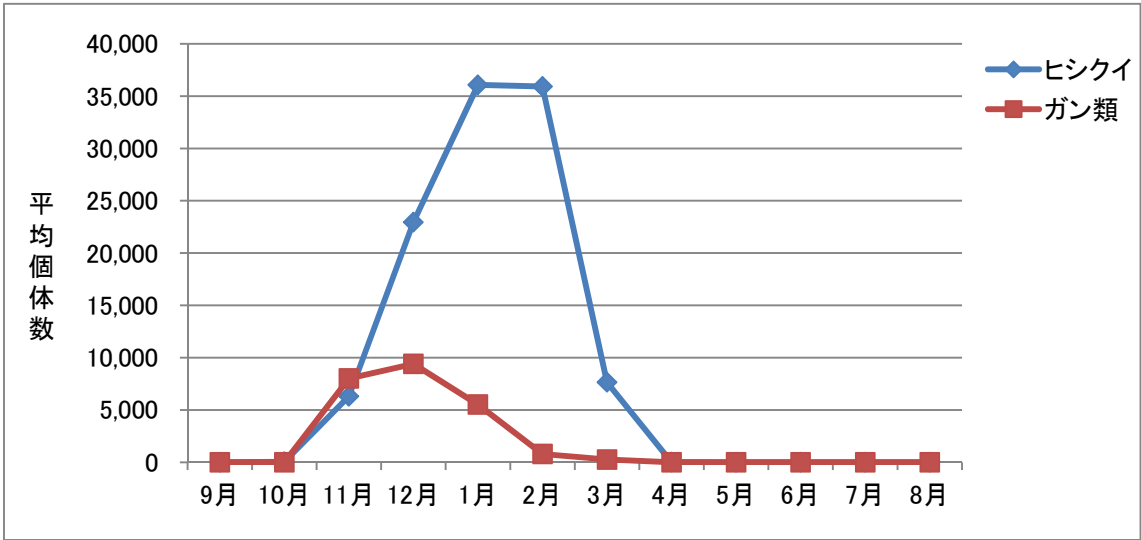


図 1-2-1-43 ガン類、ヒシクイ、ハクガン、シジュウカラガン、サカツラガン、カリガネの
月別平均確認個体数(2004年4月～2013年6月)